

企業採用活動等実態調査 【概要版】

令和7年9月

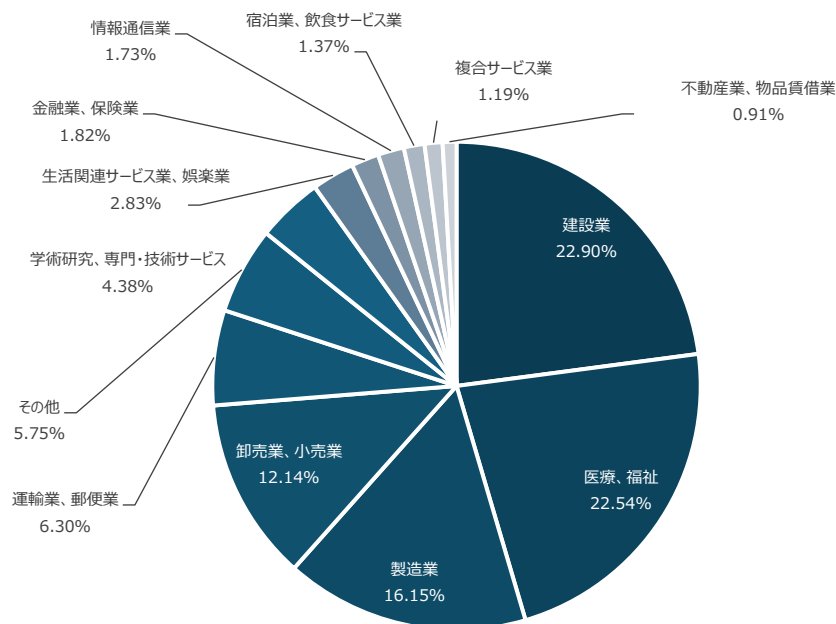
徳島県

調査概要

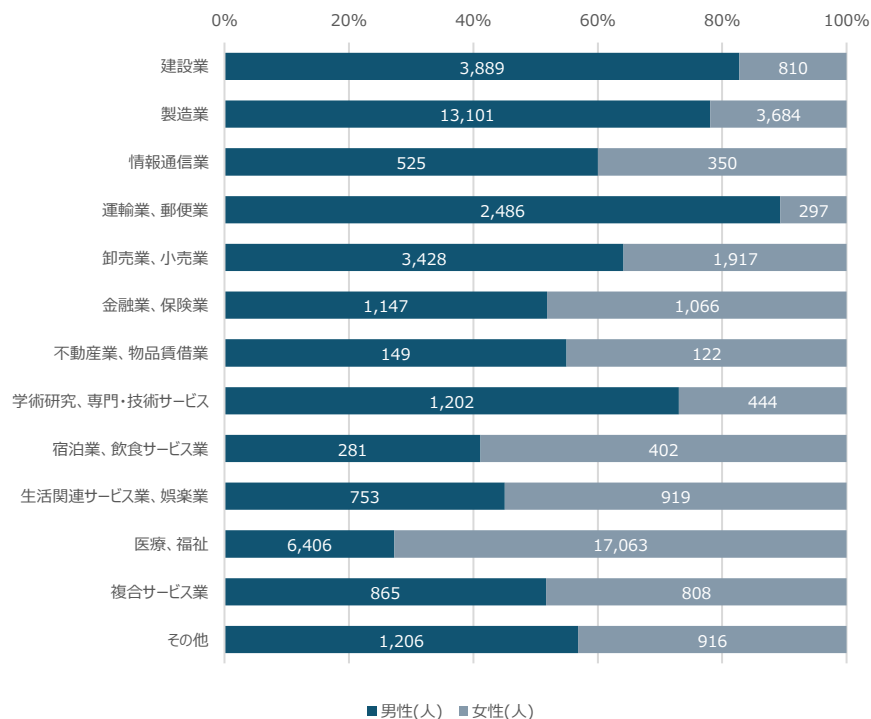
調査目的	徳島県では、全国を上回る速度の人口減少・少子高齢化により、県内企業が直面している人材不足に対応するため、良質な雇用を創出し、「労働力の確保・育成」、「地域産業の持続的発展」を図る「徳島新未来創生プロジェクト」を実施している。 一方で、県内企業の人材確保状況等について、公開情報や既存調査では、定量的・網羅的な把握が困難であり、効果的なプロジェクト実施及び効果検証のボトルネックとなっている。 今後のプロジェクトの効果的かつ効率的な実施・展開に資するデータを得るため、県内企業の人材確保状況等を詳細に把握・分析する調査を実施する。
調査対象	本調査の対象者は従業員数が10人以上の徳島県内の企業とする。
実施期間	令和7年7月15日(火)から令和7年8月8日(金)まで
調査方法	郵送による調査票の配布、回答は郵送、メールの併用にて実施した。
調査対象	2,500社
回収数	1,096社

I 事業所の基本情報

回答企業の事業内容



回答企業の常用雇用者男女比率



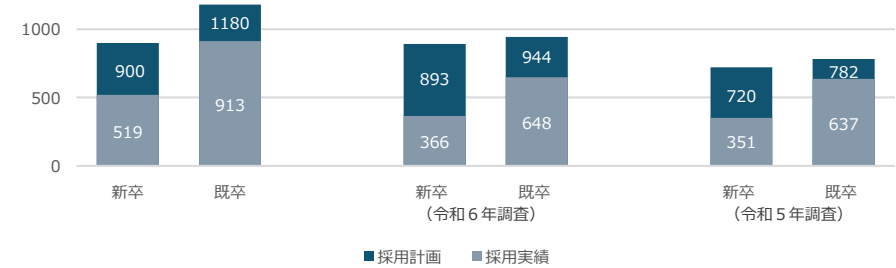
Ⅱ 新規大学卒業者、及び既卒者の採用状況

・充足率（採用計画人数に対する採用人数）は、新卒（大卒）57.67%、既卒77.37%となっており、前年と同様に新卒採用に苦戦している。
昨年度（新卒40.98%、既卒68.64%）と比較して、充足率は回復しているが、新卒採用に苦戦している為、即戦力となる既卒者の採用を強化している。

採用した新規大学卒業者・既卒者の内訳

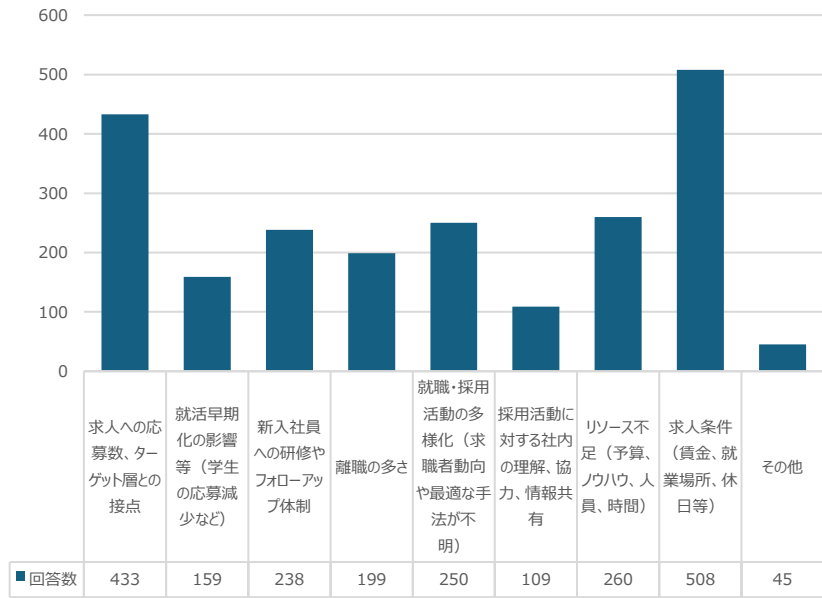
		新規大学卒業者	一社当たりの 平均人数	既 卒 者	一社当たりの 平均人数
採用計画		(ア) 900人 (n = 222)	4.05人	(ク) 1180人 (n = 361)	3.26人
採用実績		(イ) 519人 (n = 119)	4.36人	(ケ) 913人 (n = 241)	3.78人
うちインターンシップの 参加者		(ウ) 177人 (n = 40)	4.42人	(コ) 17人 (n = 8)	2.12人
採用実績 内訳	徳島県内 高校卒業	徳島県内大学卒	3.05人	採用前県内在住	3.18人
		(エ) 262人 (n = 86)		(サ) 650人 (n = 204)	
		徳島県外大学卒	3.00人	採用前県外在住	1.65人
		(オ) 135人 (n = 45)		(シ) 48人 (n = 29)	
	徳島県外 高校卒業	徳島県内大学卒	1.53人	採用前県内在住	1.91人
		(カ) 23人 (n = 15)		(ス) 86人 (n = 45)	
		徳島県外大学卒	4.50人	採用前県外在住	3.58人
		(キ) 99人 (n = 22)		(セ) 129人 (n = 36)	

採用計画に対する採用実績

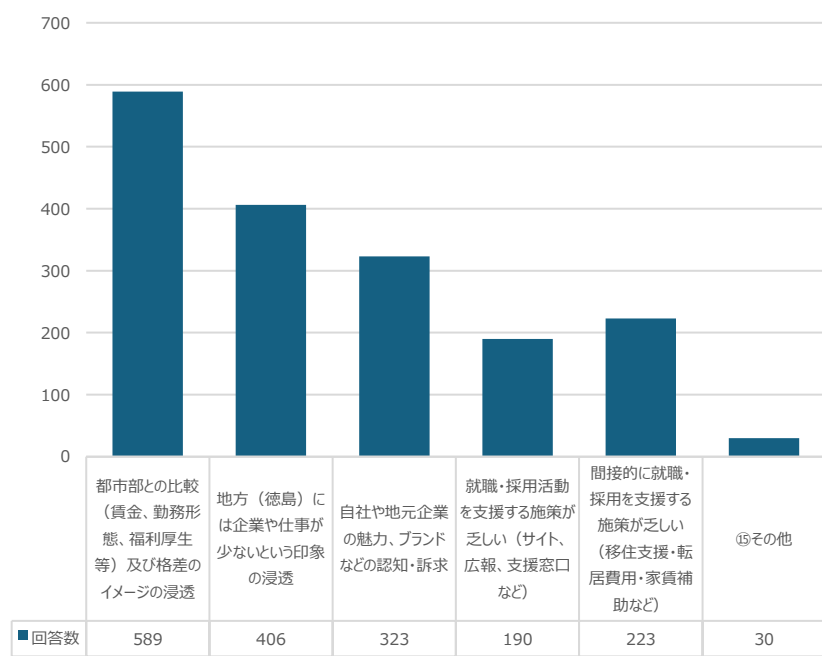


・約半数の企業が「求人条件」「求職者との接点」を課題として挙げており、母集団形成や待遇改善に苦慮している模様が窺える。
また、「都市部とのイメージ格差」を県全体の課題として挙げた企業が66.78%と最も多く、「地方に対するネガティブなイメージ」への対応にも苦しんでいる。

採用活動等を進める上での課題【企業】



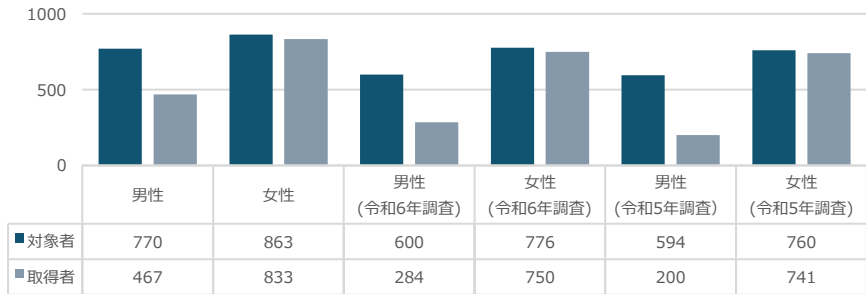
採用活動等を進める上での課題【徳島県全般】



Ⅲ 採用活動等を促進する就業環境

男性の「育児取得割合」は昨年度47.33%から13.32ポイント上昇、「1 カ月以上取得割合」は昨年度41.55%から4.92ポイント上昇し、男性の育休取得の徐々に浸透している。

採用活動を促進する就業環境：育児休業の取得対象者と取得者



令和7年度の調査結果（全体版）は
県ホームページに掲載しておりますので、
次のURLか二次元コードを参照ください。



URL : <https://www.pref.tokushima.lg.jp/ippannokata/sangyo/shushokushien/7309612>